平成 30 年度 ICOA 秋季親睦ゴルフコンペ

鈴木整形外科　鈴木正弘

日時：平成 30 年 10 月 14 日（日）

場所：メイプルカントリークラブ

　朝は、秋を感じさせる肌寒い気温でしたが、晴天で風もなく絶好のゴルフ日和でした。

　ここ数年は遅刻もせず優等生だった徳永三郎先生は、前夜の懇親会の後流れ流れて午前１時３０分まで飲んでいたとの事で、スタート時間ギリギリの滑り込みセーフで、久しぶりに「らしい」登場でした。

　今もなお鳴かず飛ばずの私が一緒にラウンドさせていただいたのは、恐れ多くも整形外科プロ集団の双木　慎先生、斉木茂温先生でした。両先生は前半３０台のスコアで、10 打もの差がついている私は、なるべくご迷惑のかからぬようひっそりとラウンドしていました。当日、メイプルカントリークラブでは「オータムフェアー」が開催されており、参加者には豪華な食事が振る舞われました。炭水化物は出

なかったので、御飯大好き双木先生は、豪華な食事のほかになんとハンバーグ定食をたいらげました。腹が苦しいと言いながらのラウンドで見たこともないような大崩れだったため、ハーフとは言え私が未だかつて経験のない１打勝利で終わり、双木先生は満腹にやられたとたいそう悔やんでおりました。

先日の県医師会ゴルフ大会で、全国大会の切符を勝ち取った斉木先生がベスグロ優勝でした。テイショットを一度も曲げる事なく、感激しながらその秘訣を聞いたところ「気持ちよく振ってるだけだ。」との事。いつも思うのですが、斉木先生は感性のゴルファーなので、ちっとも参考になりません。

今回は久々にゴルフに復帰した先生が多く、久保谷康夫先生 1 年４ヶ月ぶり、白澤榮嗣先生 1 年ぶり、双木　實先生と小山田喜敬先生が５ヶ月ぶりという事でした。各先生ともブランクを感じさせないスコアと元気で、まだまだやれるぞという健在ぶりを見せていただいたコンペであったと思います。